

各 位



平成19年 4月 20日

会 社 名 兼松日産農林株式会社  
代表者名 取締役社長 青柳一彦  
(コード番号 7961 東証・大証第1部)  
問合せ先 経理部長 田中昭浩  
(TEL. 03 - 3265 - 8231)

## 平成19年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年11月10日の中間決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 19年 3月期通期連結業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	13,300	20	10
今回修正予想(B)	13,070	66	645
増減額(B - A)	230	86	655
増減率 (%)	1.7	-	-
(ご参考) 前期実績(平成18年 3月期)	16,957	75	136

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 15円60銭

#### 2. 19年 3月期通期個別業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,500	20	20
今回修正予想(B)	12,190	56	659
増減額(B - A)	310	76	639
増減率 (%)	2.5	-	-
(ご参考) 前期実績(平成18年 3月期)	16,067	112	114

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 15円90銭

#### 3. 理 由

当期は、新設住宅着工戸数は底堅かったものの、原材料価格高止まりおよび販売競争激化の厳しい状況は継続いたしました。

このような状況の中、当社の業績は、鋼材、木材等の原材料価格高騰を販売価格に転嫁しきれなかったことや、地盤改良子会社の本格稼働の遅れによる費用先行および木材加工設備の新設、更新時の生産体制構築の遅れ等により厳しい状況で推移してまいりました。この状況に加え同業他社との価格競争や、新規顧客開拓の遅れ等により売上高、経常利益は前回発表数値を下回る見込みです。また、税効果会計基準に従い繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、当該資産を全額取り崩し、法人税等調整額6億3千5百万円を計上することといたしましたため当期純損失(連結)は6億4千5百万円となる見込みです。

なお、上記の業績予想等は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上